

『営農アンケート』集計結果の説明

～富家（本村、兔田・中山田、新宮・みどり野・うしろ台）地区集計～

1

令和2年12月4日

香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：**宛先不明等を除いた実質 5,864件**（総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：**3,330件（56.8%）**
- 面積：**1520ha（64.4%）**

香南市と富家地区の営農アンケート回収状況

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

5

- 285通送付し返信数は156通であり、**返信率54.7%**となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、**地区全体の66.8%**となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

富家地区内の回答状況

- 人数返信率で本村、兔田・中山田は約半数を超えました。
- 面積返信率では全集落で過半数を超えました。

表3) 集落別返信率 (人数)

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
5-1	本村	139	17	122	67	54.9%
5-2	兔田・中山田	117	13	104	61	58.7%
5-3	新宮・みどり野・うしろ台	65	6	59	28	47.5%

表4) 集落別返信率 (面積)

No.	集落	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積率
5-1	本村	432,161	265,585	61.5%
5-2	兔田・中山田	344,223	266,762	77.5%
5-3	新宮・みどり野・うしろ台	148,836	85,874	57.7%

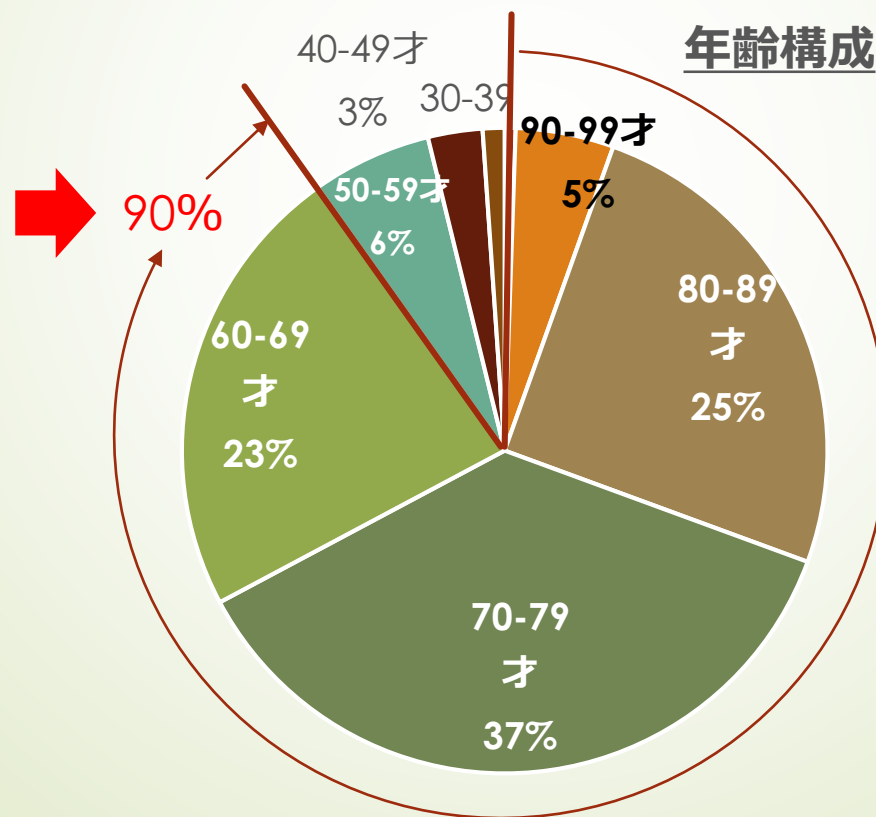
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

アンケート集計 (1)

7

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の90%は60歳以上の状況である。



設問への回答数 : 183

アンケート集計 (2)

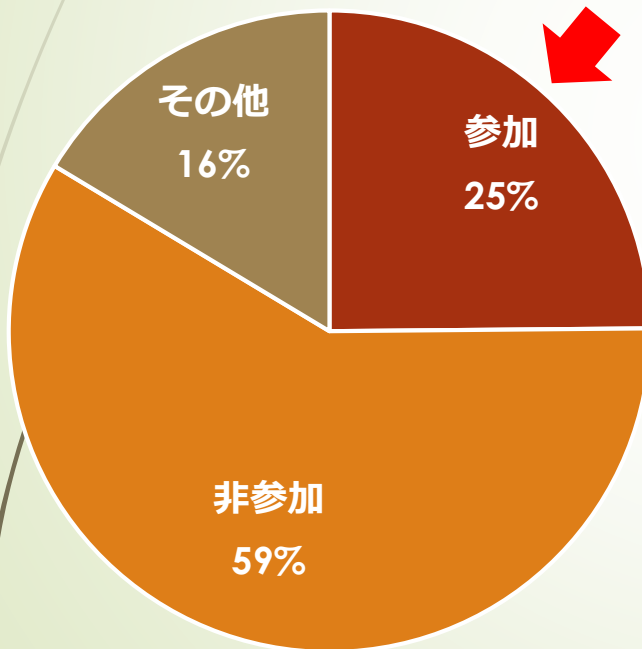
地域会合への参画意向

8

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の25%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区方針の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



設問への回答者数 : 177

コメント :

- 元気なら、地域の会合に参加。
- 会合には、こうちにいるときは出来るだけ参加したい。
- 地域の話し合いに協力する。
- 取り組みは良いことだが**自分は現状で満足**している。
- 不利にならなければ (話し合いに) 応じる。

- 高知市在住。話し合いへは**遠距離の為出席できません**が、方針が決まったら、その方針に対して、改めて考えて意見を言いたい。
- 話し合いへの参加困難。
- (会合に参加希望だが) 難聴で話し合いできず。
- 話し合いへの参加は困難。

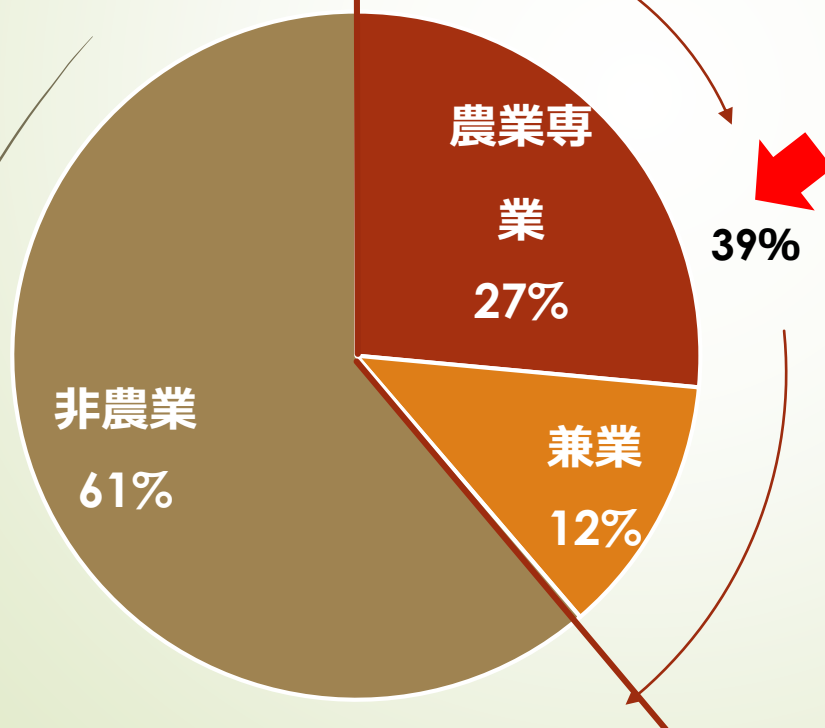
- (地域での会合/方針は) 必要ない。
- (所有地は) 実家の敷地の一部なので (話し合いは不要) 。

- (話し合いは) しない。
- わからない。
- 各人の意向に依るべき。
- 農家ではないのでわからない。

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は39%に止まる。
- 農業を営んでいない人は61%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

世帯の生業



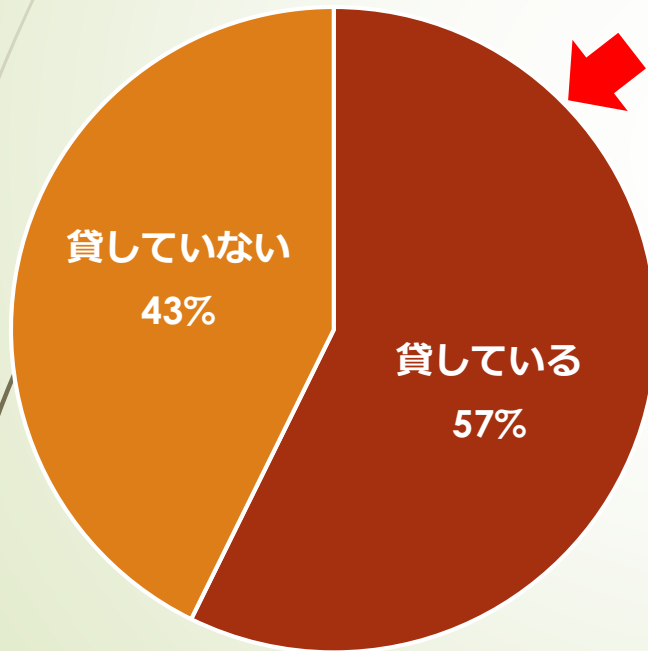
コメント：

- 対象は宅地介在田。購入時から農地利用していない。
- 対象の土地は地目が『畑』となっているが、実態は『墓地』。私自身営農はしておりません。今後の予定もなし。
- 農地はありません。（農家台帳上は、畑62㎡所有となっている。）
- 土地の所有はしていますが、農地という意識はなく、今後についても未定です。父母から相続し、管理のみしています。

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の57%は農地を貸している。
- 現状は借り手がいるが、将来的には新たな借り手を探す必要がある状況も示唆されている。

農地の現状



設問への回答者数：199

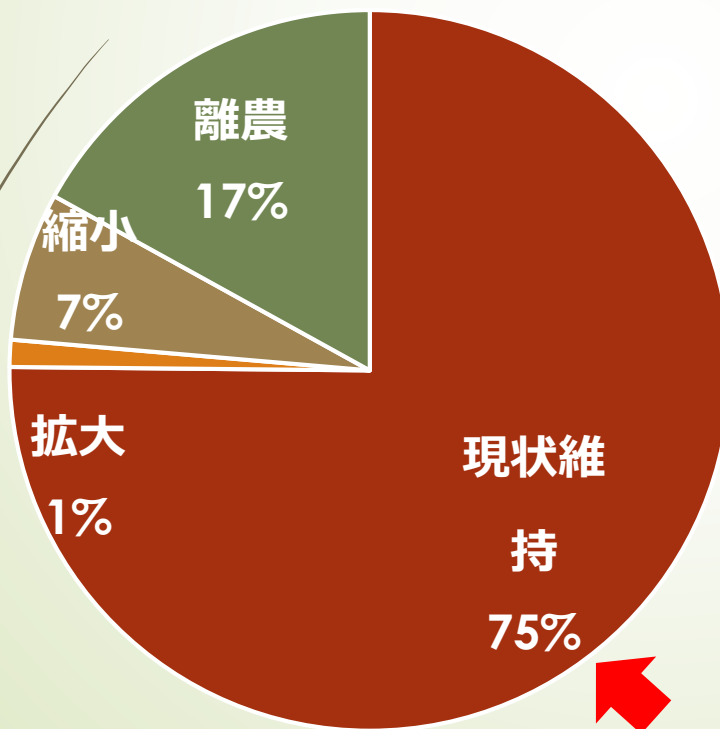
コメント：

- 現在18.2aを貸している方にお米を作ってもらっており、残りの55a程を貸しています。このまま借りていただいて、家のお米も一緒に作っていただきたいと思っております。
- 2/3は貸している。1/3は家庭菜園用だが、現在は隣の方に管理していただいている。
- 家庭菜園や農地管理のみ。現在雑種地（駐車場1030m²）を貸している。※農地ではありません。
- 現在16.0a（水稻）を貸している。今後15.0a（水稻）を貸す予定。
- 現在30ha貸している。
- 現在6反程度貸している。
- 現在は何とか借り手が見つかっているが、返してきた場合は、**新たなつくり手を見つけなければならない。**

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持する意向が75%あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて24%あった。

今後5年～10年



設問への回答数：165

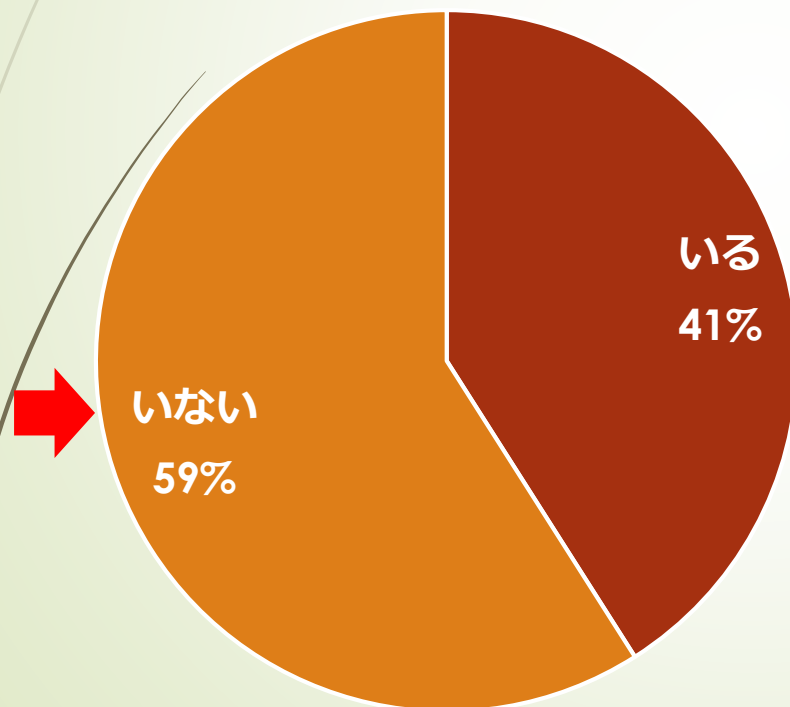
コメント：

- 将来時間ができたら（退職等）、無農薬家庭菜園をやりたい。以前もやっていたが、今は時間がないので休んでいる。
- 賃貸で田の管理は出来ている。
- 現状を5年位維持。
- 現状を20年位維持予定。健康状態とか、家族動向もあり、これは“希望”です。
- 現状を5年間くらい維持。
- 5-10年後も全く未定です。
- 離農希望。
- すぐにでも農業経営をやめる予定。
- (5～10年後は) 晴耕雨読。

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が約6割あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がない状況、農地を借りて耕作する側も高齢/跡継ぎ不在という状況も伺える。

農業後継者



設問への回答者数 : 183

コメント :

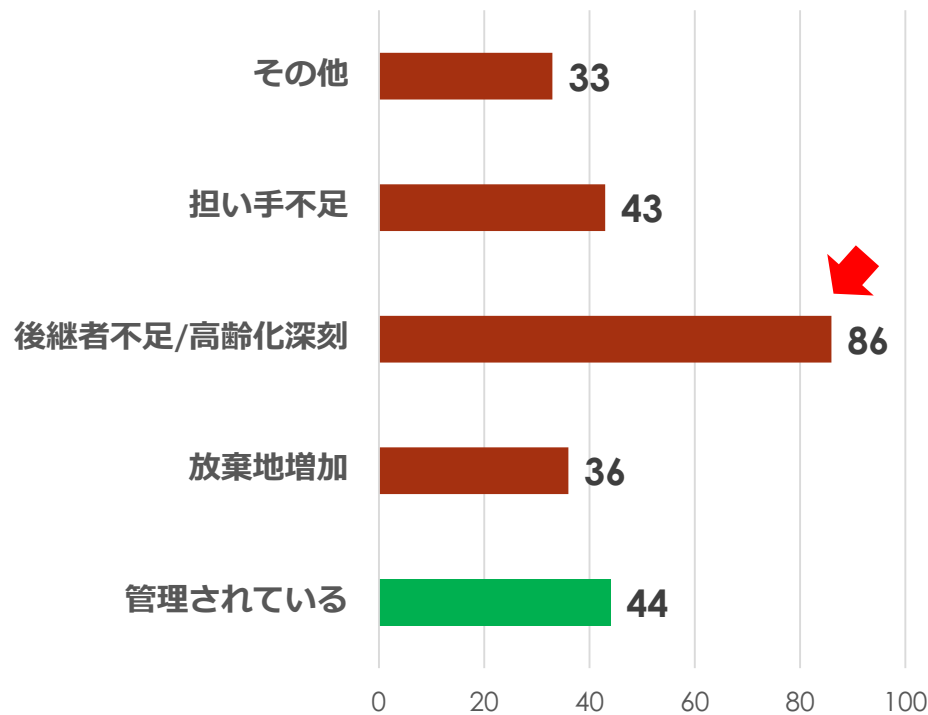
- 後継者は居るが、農業は継がない様です。
- 長男がニラハウスをしているが、稲作（100a）は継がないと思う。
- 息子（養子）が定年後農業を行う予定。
- 知人に作付けしてもらっているが、いつまで（続けてもらえるか）と思うと、先が不安です。
- 不明。

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

■ 後継者不足や高齢化が深刻である、との認識が多い。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：242

コメント：

- ・『地域』の意味がわかりません。野市町の意味ですか。『担い手』がないのではなく、『安定した農業』がないのです。
- ・担い手が居るところ、いないところが混在している。
- ・今までは管理されているが今後はわからない。
- ・しょうが生産会社に貸すところが増えている。
- ・居住地が（農地の所在地とは）異なるため不明。
- ・他家のことはわからない。
- ・不明。
- ・わからない。/特に考えてない。
- ・地域の事はわかりません。
- ・分からない。/わかりません。
- ・南国市在住ゆえ不明。
- ・農業でないのでわからない。/農業以外なのでわかりません。
- ・近くに住んでいるが余り知らない。
- ・柿畑としていたが、近隣より竹が侵入。竹林となり、耕作不能。
- ・結構家の周りに耕作していない土地があります。
- ・家やアパートとなる土地が多いのでは・・・
- ・現在は宅地となっております。
- ・（農地の）売却か賃貸。
- ・圃場周辺の水路整備がされていない（ので整備が必要）。

アンケート集計 (8)

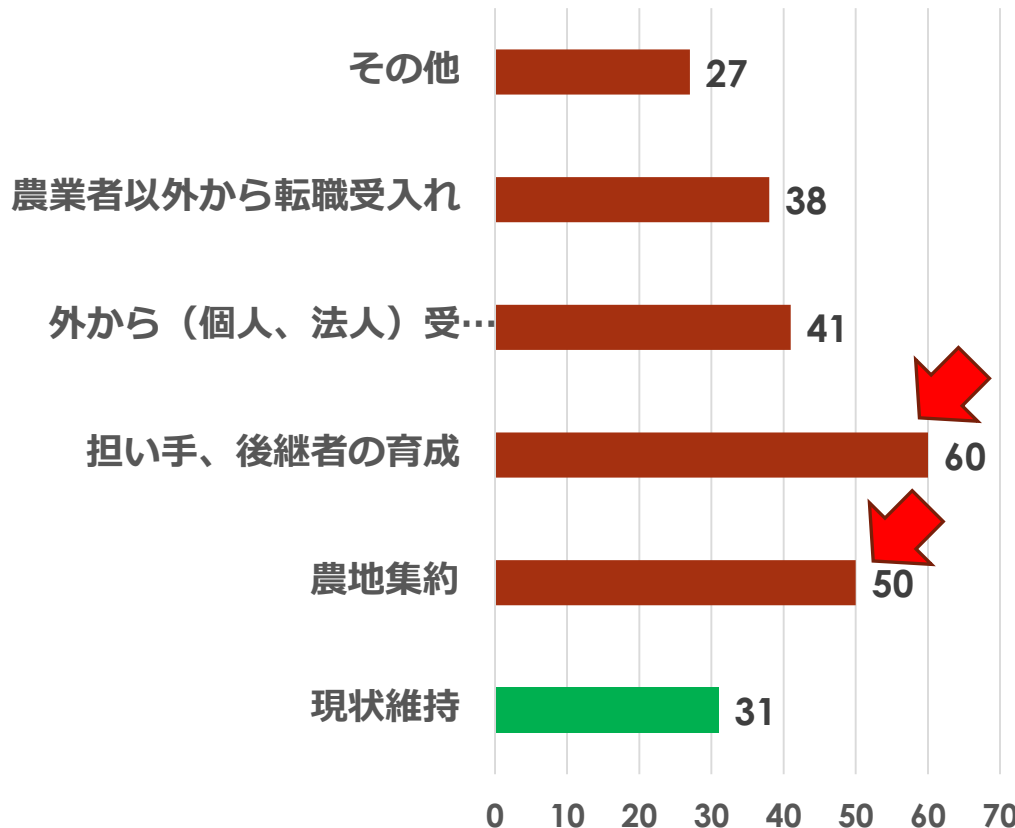
持続可能な農業のために

14

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

■ 持続可能な農業には、担い手の育成や、農地の集約が望まれている。

持続可能な農業



設問への回答数 : 247

コメント :

・食物以外の作物(薬草やエネルギー源になるようなもの)の生産がないとおもう。生産者を増やしても、買う人間が増えなければムダ。逆に破綻する。

・株式会社が農地を取得できるように、農地法を改正する。株式会社と農業を考える。

・もっと農業に力を入れてほしい。

・現在貸している人ができなくなったら、売ったり貸したりするようになります(します)。

・地域のことはわかりません。

・特に考えはない。

・農業以外なのでわかりません。

・不明。

・将来の展望は見えない。

アンケート集計 (9)

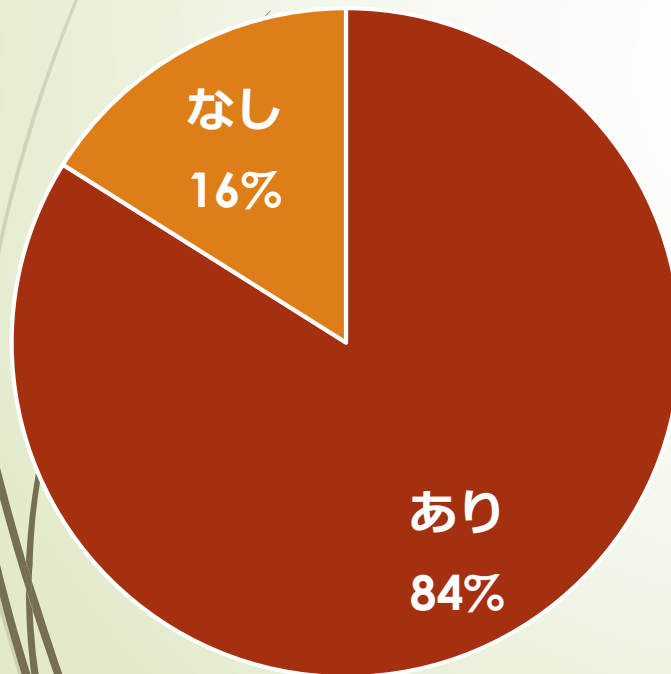
売りたい・貸したい農地候補

15

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウ
スがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況、あるいは後継者不在、遠方に所在する等である。
- 売却希望の背景には、農業を辞めたり、農地として耕作条件が良くない点を挙げているケースがある。

売り貸し候補地



設問への回答数 : 56

コメント

(貸したい)

- ・ 維持管理し、(農地として) 正常に保つため。
 - ・ 高齢の為。
 - ・ **高齢化で維持管理は無理。**
 - ・ 維持管理する者が居ない。
 - ・ 貸していたが返還の意向があり (他の借り主を探している)。
 - ・ 今年以降も貸したい。お世話願いたい。
 - ・ 家から離れていて、作りにくい。
 - ・ ニラおよび水田として耕作依頼中。
 - ・ **後継者が居ない。**
 - ・ 後継者が農業を続けるか未定。
 - ・ 現在営農できる状況にない。貸しているが、相手方への継続必要なし。
- (売り貸し)
- ・ 現在貸しているが、(返却されると) 自分では作れない。
 - ・ いまのところありませんが、近い将来 (は可能性が有る。)
- (売りたい)
- ・ **廃業 (農業を辞める。)**
 - ・ 田の北側の更地にしたが、重機を入れる場所にあるため。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景まとめ

16

農業者側の事情

高齢化、体力・気力低下
所有者/借地者の病気
遠方に在住
農機具を所有していない
他の仕事に専念
後継者不在/跡継ぎまで年数要

農地を農地として管理できない。

耕作条件

小さい農地区画
インフラ（農道/水路）不備

農地としての適性が低い。

稲作の採算

米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

生活費の捻出
事業の資金の調達

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却